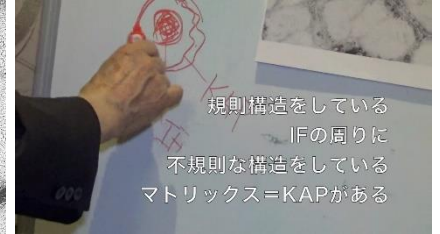
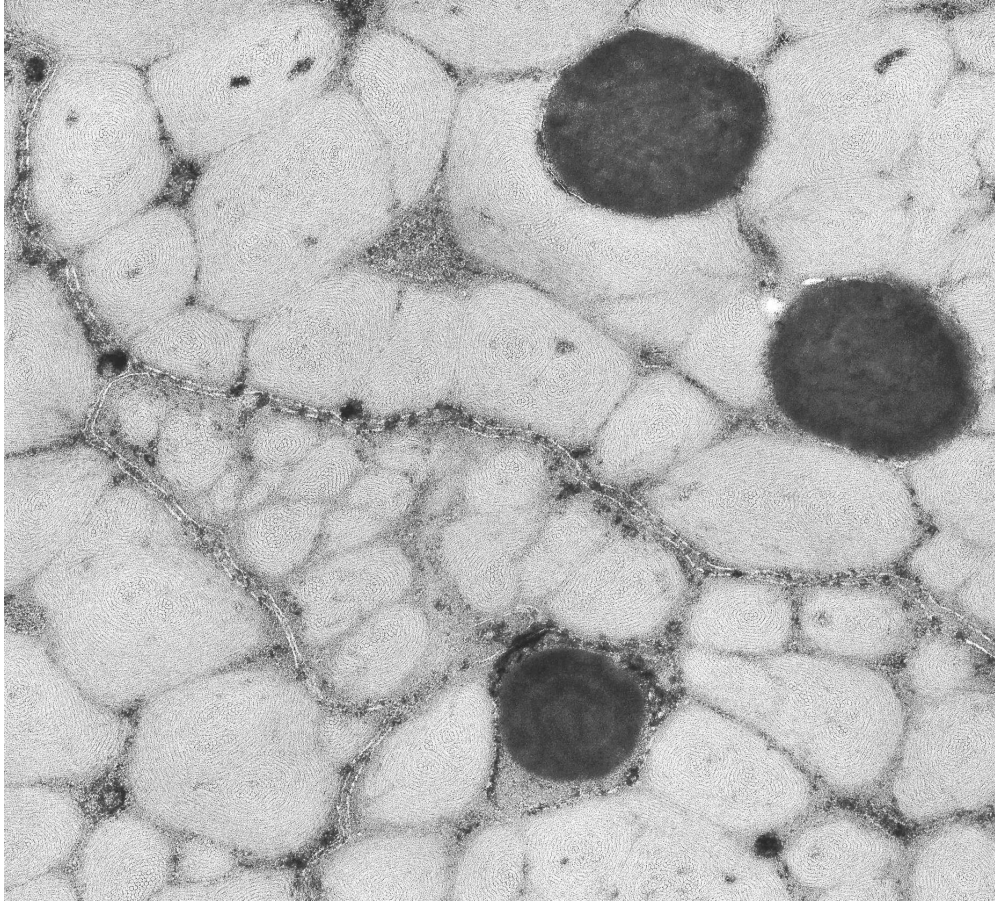


# 【09】 コルテックスの構造 —「マクロフィブリル」と「メラニン」—

## 《毛髪断面の電子顕微鏡写真》



■コルテックスの最小単位は、規則構造しているIFの周りに、不規則な構造をしているKAPが取り巻いている「IF+KAP」である。コルテックスには、この「IF+KAP」が埋め込まれている。

■どのように埋め込まれてるかと言うと、IF+KAPが指紋状の形に配列されているものや、指紋状ではなく形が崩れているもの、また2つの渦巻きが不規則に存在しているものもある。IF+KAPの並び方は千差万別である。

■生物というのは1つの決まった構造にはならない。細胞は自由に動いて形が変化する。毛が生えてきて空気中に出て乾燥して死んでしまえば、その形になってしまうのである。



■指紋状というのは、親指の指紋状もあれば人差し指の指紋状もあり、いろいろな形がある。決して同じ指紋はないのと同じように、毛髪コルテックスの中にも同じ指紋状ない。それが生命の不思議である。

